

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of :
Toshiro YOSHIE et al. :
Serial No. NEW : **Attn: APPLICATION BRANCH**
Filed September 24, 2003 : Attorney Docket No. 2003-1341A
STROLLER

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

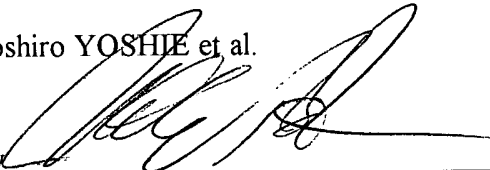
Applicants in the above-entitled application hereby claim the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2002-277556, filed September 24, 2002, and Japanese Patent Application No. 2003-108039, filed April 11, 2003, as acknowledged in the Declaration of this application.

Certified copies of said Japanese Patent Applications are submitted herewith.

Respectfully submitted,

Toshiro YOSHIE et al.

By


Nils E. Pedersen
Registration No. 33,145
Attorney for Applicants

NEP/krl
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
September 24, 2003

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEES FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0275

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 2 4 日
Date of Application:

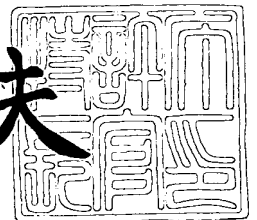
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 7 7 5 5 6
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 2 7 7 5 5 6]

出 願 人 コンビ株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 6 7 7 5 5

【書類名】 特許願

【整理番号】 13862301

【提出日】 平成14年 9月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B62B 7/06

【発明の名称】 3 折りタイプベビーカー

【請求項の数】 3

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都台東区元浅草2丁目6番7号 コンビ株式会社内

 【氏名】 吉 江 俊 郎

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都台東区元浅草2丁目6番7号 コンビ株式会社内

 【氏名】 浮 津 裕

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都台東区元浅草2丁目6番7号 コンビ株式会社内

 【氏名】 生 野 時 彦

【特許出願人】

 【識別番号】 391003912

 【住所又は居所】 東京都台東区元浅草2丁目6番7号

 【氏名又は名称】 コンビ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100075812

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 吉 武 賢 次

【選任した代理人】

 【識別番号】 100073379

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 佐 藤 政 光

【選任した代理人】

【識別番号】 100091982

【弁理士】

【氏名又は名称】 永 井 浩 之

【選任した代理人】

【識別番号】 100096895

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡 田 淳 平

【選任した代理人】

【識別番号】 100105795

【弁理士】

【氏名又は名称】 名 塚 聡

【選任した代理人】

【識別番号】 100106655

【弁理士】

【氏名又は名称】 森 秀 行

【選任した代理人】

【識別番号】 100117787

【弁理士】

【氏名又は名称】 勝 沼 宏 仁

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 087654

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 3 折りタイプベビーカー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 折り状態に折り畳み可能な 3 折りタイプのベビーカーにおいて、前脚と後脚とを互いに連結し座面を構成する左右の連結バーの後端部に、L 字状のかご保持用パイプを連結するとともに、その左右のかご保持用パイプの先端屈曲部を互いに離間した状態で対向させ、上記かご保持用パイプに荷物収納用のかごの後部上縁部を係合装着したことを特徴とする 3 折りタイプベビーカー。

【請求項 2】

左右のかご保持用パイプの先端屈曲部は互いに伸縮性のある縫製品で連結されていることを特徴とする、請求項 1 記載の 3 折りタイプベビーカー。

【請求項 3】

左右のかご保持用パイプは連結バーとともに手押し杆の先端部に枢着されていることを特徴とする、請求項 1 記載の 3 折りタイプベビーカー。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、3 つ折りタイプベビーカーに係り、特に荷物収納用のかご取付部の構造に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に、乳幼児を散歩や買い物等のために屋外に連れ出す場合に使用するベビーカーにおいては、必要に応じて折り畳み、収納や携帯が容易になるようにしたものが種々提案されている。

【0 0 0 3】

すなわち、図 5 は上記折り畳み可能なベビーカーの斜視図であって、そのベビーカーは、前輪 1 1 を有する左右一対の前脚 1 2、後輪 1 3 を有する左右一対の後脚 1 4、ほぼ U 字状に屈曲された手押し杆 1 5、左右一対のアームレスト 1 6

、及びそのアームレスト 1 6、1 6 の間に掛け渡された着脱可能なガードアーム 1 7 によって構成されている。上記手押し杆 1 5 を構成する左右のパイプ 1 8 の先端近傍部にはそれぞれ上記アームレスト 1 6 の一端が枢着されており、その各アームレスト 1 6 の他端に前脚 1 2 の頂端部が枢着されている。また、左右の後脚 1 4 の頂端部も上記アームレスト 1 6 の中間部に枢着されており、その後脚 1 4 の中間部にはく字状に屈曲されたブラケット 1 9 の一端が枢着されている。そして、そのブラケット 1 9 の中間位置に前記手押し杆 1 5 を構成する左右のパイプ 1 8 の先端がそれぞれ枢着されており、ベビーカーの展開状態において、上記ブラケット 1 9 の他端に形成された係合部に上記パイプ 1 8 の下端部に摺動可能に装着されたロック部材 2 0 が係合し、その展開状態を維持するようにしてある。

【0 0 0 4】

一方、上記左右の前脚 1 2 は前側連結バー 2 1 によって連結されており、左右の後脚 1 4 は後側連結バー 2 2 によって連結されている。さらに、各前脚 1 2 の中間部には連結バー 2 3 の前端が枢着され、その連結バー 2 3 の後端が上記ブラケット 1 9 とともにパイプ 1 8 の先端部に枢着され、また左右の連結バー 2 3 の中間部が上側連結バー 2 4 によって連結されている。

【0 0 0 5】

しかして、図 5 に示すように、パイプ 1 8 の下端に設けられているロック部材 2 0 をブラケット 1 9 の上端に設けられている係止部に係合することによって、ベビーカーが使用可能な展開状態に保持される。一方、手押し杆 1 5 に設けられている操作装置 2 5 を操作することにより上記ロック部材 2 0 とブラケット 1 9 との係合が離脱されると、アームレスト 1 6 及び連結バー 2 3 が前記パイプ 1 8 との各枢着点を中心として上方に揺動可能となり、前脚 1 2 と後脚 1 4 とがほぼ平行状態に揺動され、携帯に便利のように折り畳むことができる。

【0 0 0 6】

さらに、手押し杆 1 5、前側連結バー 2 1、後側連結パイプ 2 2、及び上側連結バー 2 4 は、2 つの同一垂直面内において各中間部の 2 箇所がジョイントにより折り畳み可能としてある。したがって、上述のように前脚 1 2 と後脚 1 4 を平

行状態に折り畳んだ後、左右のパイプ18を前方に移動させると、上記手押し杆15、前側連結バー21、後側連結パイプ22及び上側連結バー24の両端部が前方に折り曲げられ、ベビーカーを図6に示すようにさらにコンパクトに折り畳むことができる。

【0007】

一方、このようなベビーカーにおいては、通常図7に示すように、座面の下方に荷物収容用のかご26を装着することが行われている。

【0008】

【特許文献】

実開平2-40667号公報

【0009】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、上述のようにベビーカーにおける座面の下方に大型のかごを装着するにはスペース的に問題があり、しかも荷物の出し入れが容易になるようにかご開口部に剛性のかご枠を設けることは、ベビーカーの折り畳み可能とする三つ折りタイプのベビーカーにおいては開閉機構的に問題がある。そこで、従来かごを大型にする場合には、かごを縫製品のみにより製造するとともに、ベビーカーの後方に延びた形状にし、その後方に形成された開口部に絞り用の紐27を設けることが行われている。しかし、このようなものにおいては、荷物の出し入れ時にその都度紐27を解いたり縛ったりしなければならず、荷物の出し入れが面倒である等の問題がある。

【0010】

本発明は、このような点に鑑み、かごを大型にすることができるとともにかごへの荷物の出し入れがし易く、しかも、かごがベビーカーの折り畳みにも支障がないようにしたベビーカーを得ることを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

請求項1に係る発明は、3折り状態に折り畳み可能な3折りタイプのベビーカーにおいて、前脚と後脚とを互いに連結し座面を構成する左右の連結バーの後端

部に、L字状のかご保持用パイプを連結するとともに、その左右のかご保持用パイプの先端屈曲部を互いに離間した状態に対向させ、上記かご保持用パイプに荷物収納用のかごの後部上縁部に係合装着したことを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

請求項 2 に係る発明は、請求項 1 に係る発明において、左右のかご保持用パイプの先端屈曲部は互いに伸縮性のある縫製品で連結されていることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

請求項 3 に係る発明は、請求項 1 に係る発明において、左右のかご保持用パイプは連結バーとともに手押し杆の先端部に枢着されていることを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して本発明の実施に形態について説明する。

【 0 0 1 5 】

図 1 は本発明のベビーカーの斜視図であって、ベビーカー本体は図 5 に示す従来のものと同様に三つ折り可能に構成されており、シート 3 0 が載置装着されている座面の下方に荷物収納用の大型のかご 3 1 が取り付けられている。

【 0 0 1 6 】

すなわち、上記座面を構成する左右の連結バー 2 3 の後端部には、L字状のかご保持用パイプ 3 2 の基端が連結され、ベビーカー本体の後方に突設されている。上記左右のかご保持用パイプ 3 2 の先端屈曲部は互いにその端部が対向せしめられており、かつ離間されている。図 2 は上記連結バー 2 3 とかご保持用のパイプ 3 2 との連結部の構成を示す斜視図であり、上記連結バー 2 3 の後端部には連結金具 3 3 が固着されており、その連結金具 3 3 のボス 3 3 a に上記かご保持用のパイプ 3 2 の基端部が挿入固着されている。そして、上記連結金具 3 3 が前記ブラケット 1 9 とともに手押し杆を形成するパイプ 1 8 の先端部に枢着されており、上記かご保持用のパイプ 3 2 が連結バー 2 3 と一体的にパイプ 1 8 に対して揺動可能としてある。一方、上記互いに対向する左右のかご保持用のパイプ 3 2 の先端屈曲部は伸縮性がある縫製品 3 4 により連結されている。

【 0 0 1 7 】

ところで、左右の連結バー 2 3 等により構成されている座面の下方に設けられている荷物収納用のかご 3 1 は、その左右両側上縁の前半部が上記左右の連結バー 2 3 に懸吊されており、ベビーカー本体の後方に延びる後部上縁部が、図 3 に示すように、左右のかご保持用のパイプ 3 2 及びそのパイプを連結する伸縮性がある縫製品 3 4 により構成された枠状体に装着支持されている。

【 0 0 1 8 】

しかし、ベビーカー本体が展開状態の場合には、ベビーカー本体の後方に延びたかご 3 1 の開口部が上記かご保持用のパイプ 3 2 により保持され、大きく開いた状態となり、かごへの荷物の出し入れを容易に行うことができる。一方、ベビーカー本体を折り畳むときには、折り畳み動作に応じて左右の連結バー 2 3 が上方に揺動するのに伴ってかご保持用のパイプ 3 2 は下方に揺動し、さらに三つ折り状態に折り畳まれるにしたがって左右のかご保持用のパイプ 3 2 の先端屈曲部間が開くが、両者間が伸縮性がある縫製品によって連結されているので、容易に移動でき、図 4 に示すように、ベビーカー本体とともに折り畳まれ、ベビーカー本体の折り畳みに支障を来すこともない。

【 0 0 1 9 】**【発明の効果】**

本発明は、上述のように、ベビーカー本体の前脚と後脚とを互いに連結し座面を構成する左右の連結バーの後端部に、L 字状のかご保持用パイプを連結するとともに、その左右のかご保持用パイプの先端屈曲部を互いに離間した状態で対向させ、上記かご保持用パイプに荷物収納用のかごの後部上縁部を係合装着したので、ベビーカー本体の展開状態時にはかごの開口部が大きく保持され、かごへの荷物の出し入れを容易に行うことができ、さらに、かごをベビーカー本体の後方側に延びた大型のものとすることができ、多量の荷物の搬送にも対応することができる。しかも、左右のかご保持用パイプの先端屈曲部が互いに離間した状態で対向せしめられているので、ベビーカー本体の折り畳み時にも支障を来すこともない等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のベビーカーの概略構成を示す一部断面斜視図。

【図 2】

かご保持用のパイプ取付部の構成を示す拡大斜視図。

【図 3】

ベビーカー本体の展開時におけるかごの開口部の状態を示す図。

【図 4】

ベビーカー本体の折り畳み時におけるかごの状態を示す図。

【図 5】

三つ折りタイプのベビーカー本体の概略構成を示す斜視図。

【図 6】

三つ折りタイプのベビーカー本体の折り畳み状態を示す図。

【図 7】

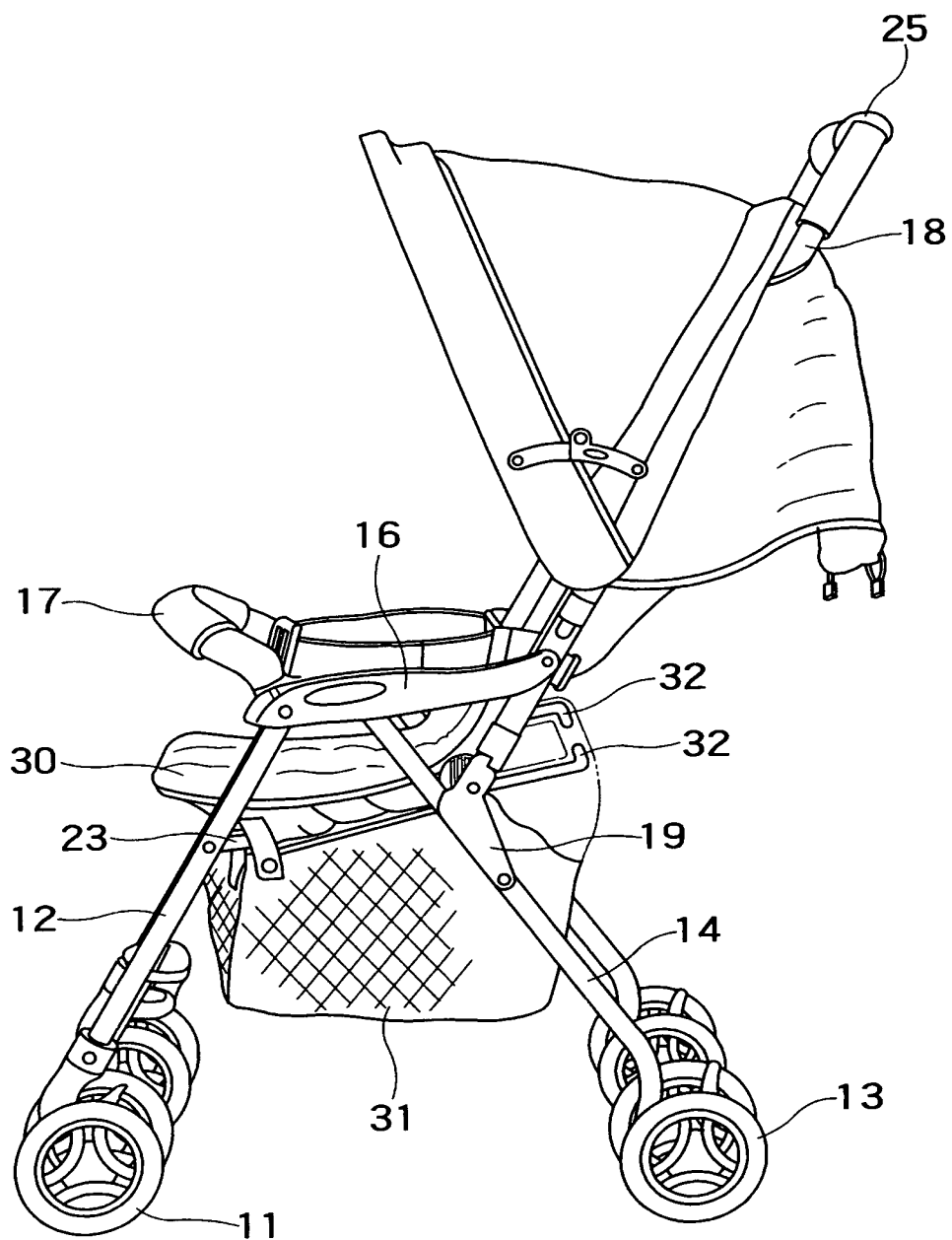
従来の荷物収納用かごを取り付けたベビーカーの斜視図。

【符号の説明】

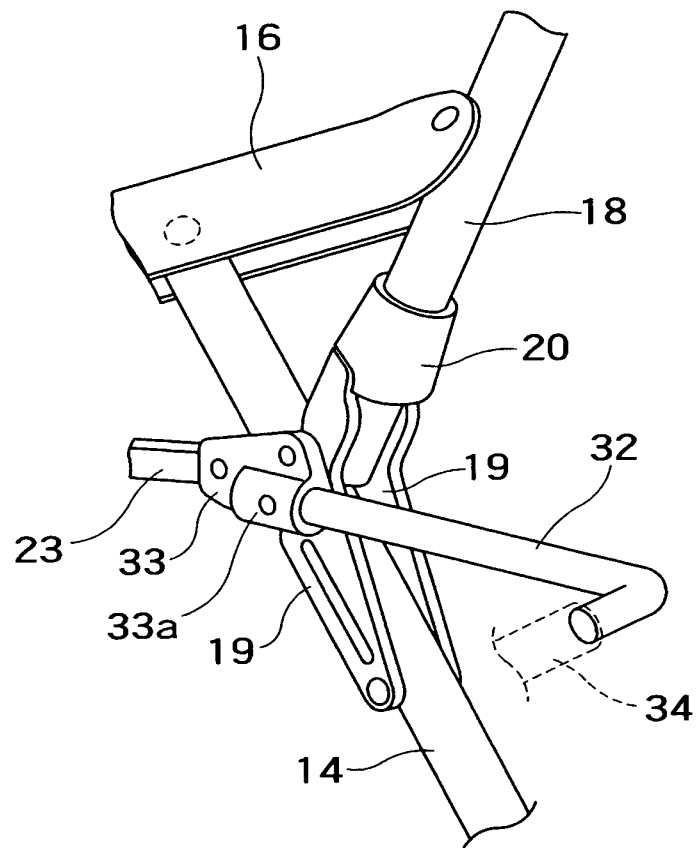
- 1 1 前輪
- 1 2 前脚
- 1 3 後輪
- 1 4 後脚
- 1 8 パイプ
- 2 3 連結バー
- 3 1 荷物収納用かご
- 3 2 かご保持用のパイプ
- 3 3 連結金具
- 3 4 縫製品

【書類名】 図面

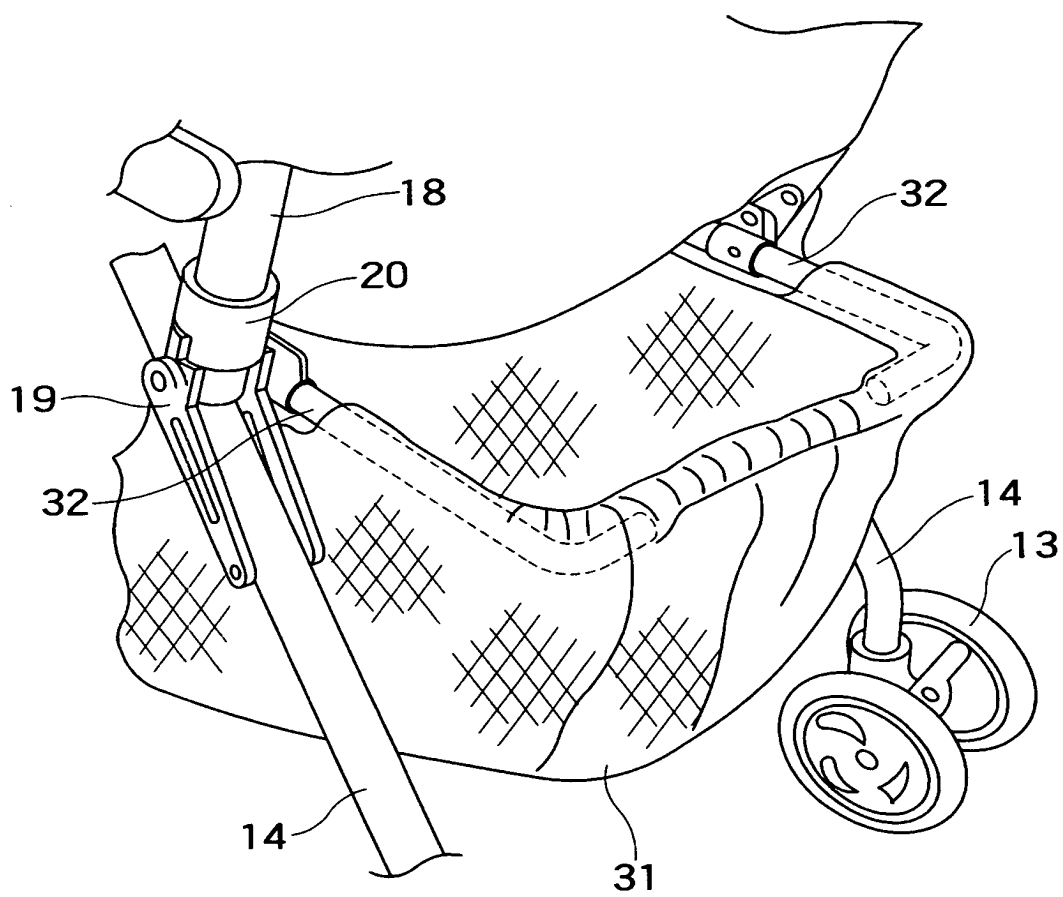
【図 1】



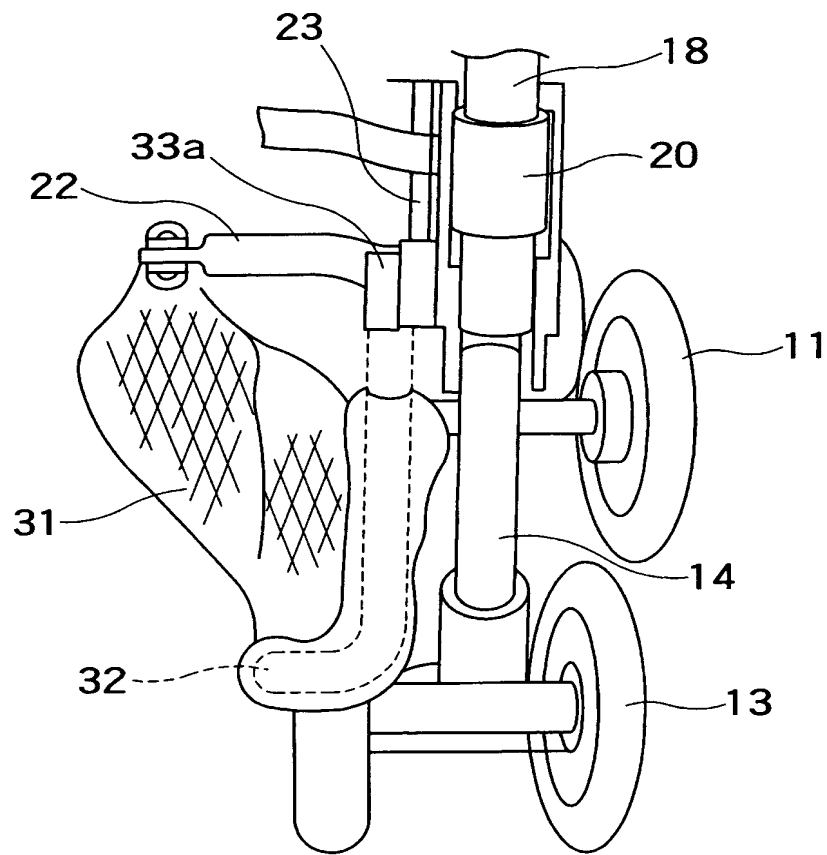
【図 2】



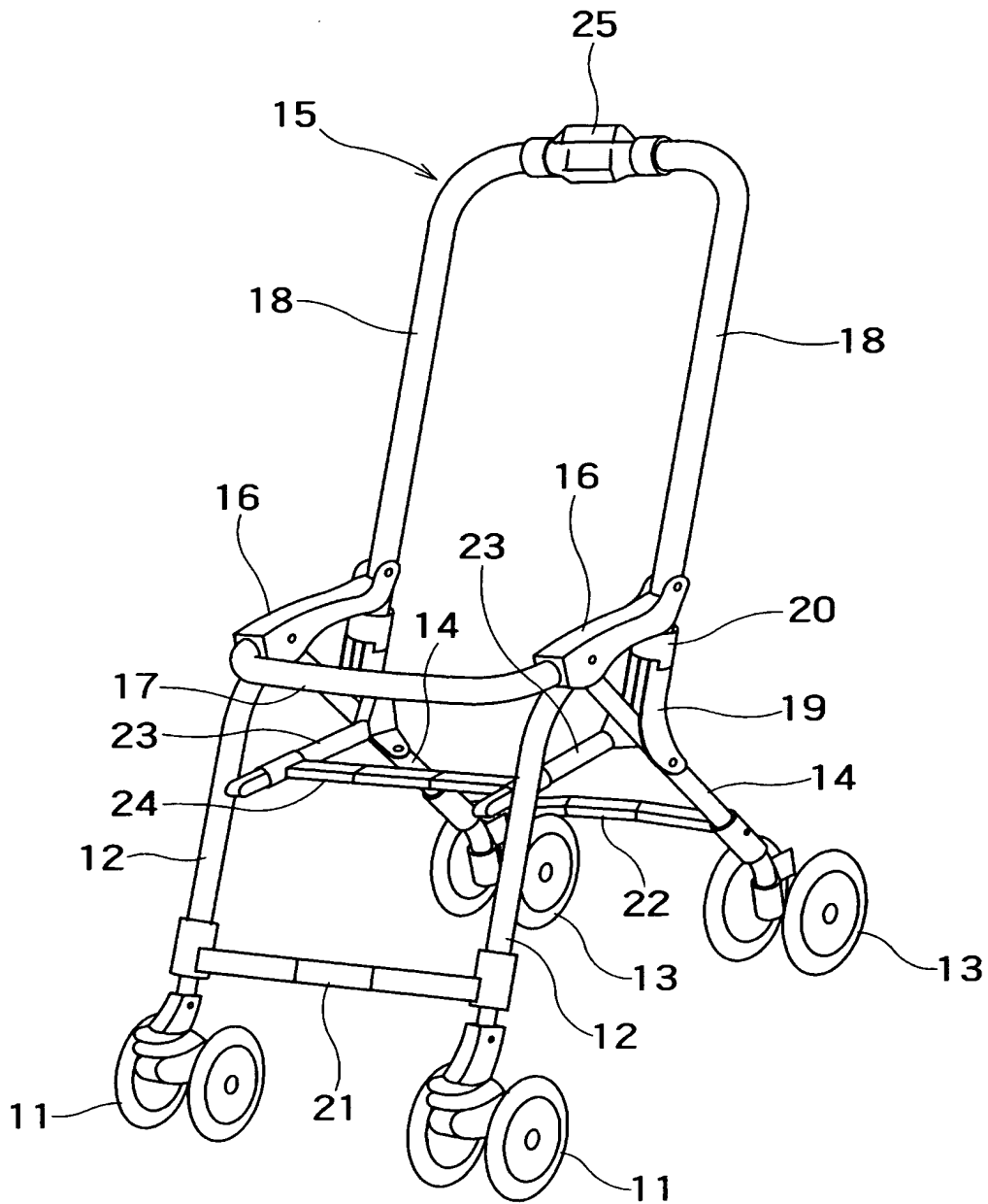
【図3】



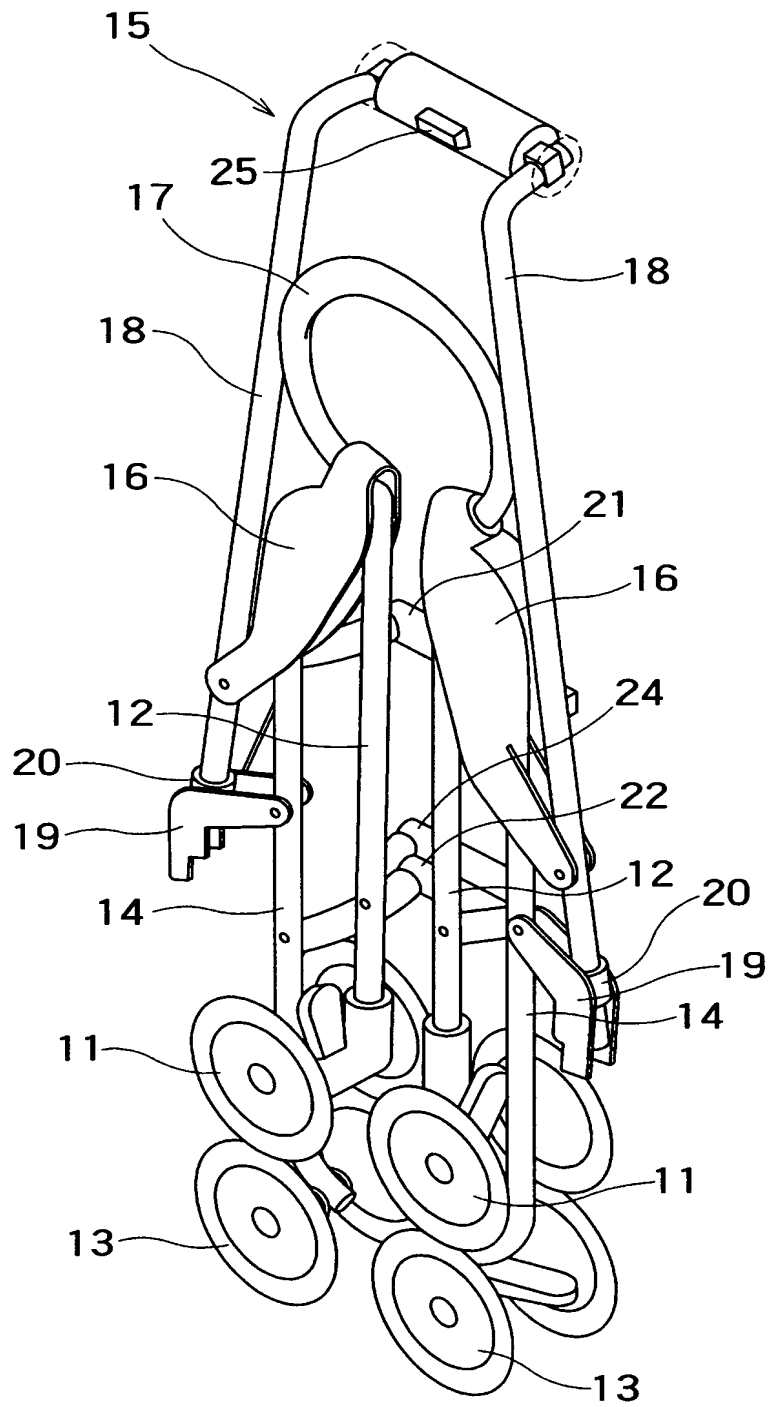
【図 4】



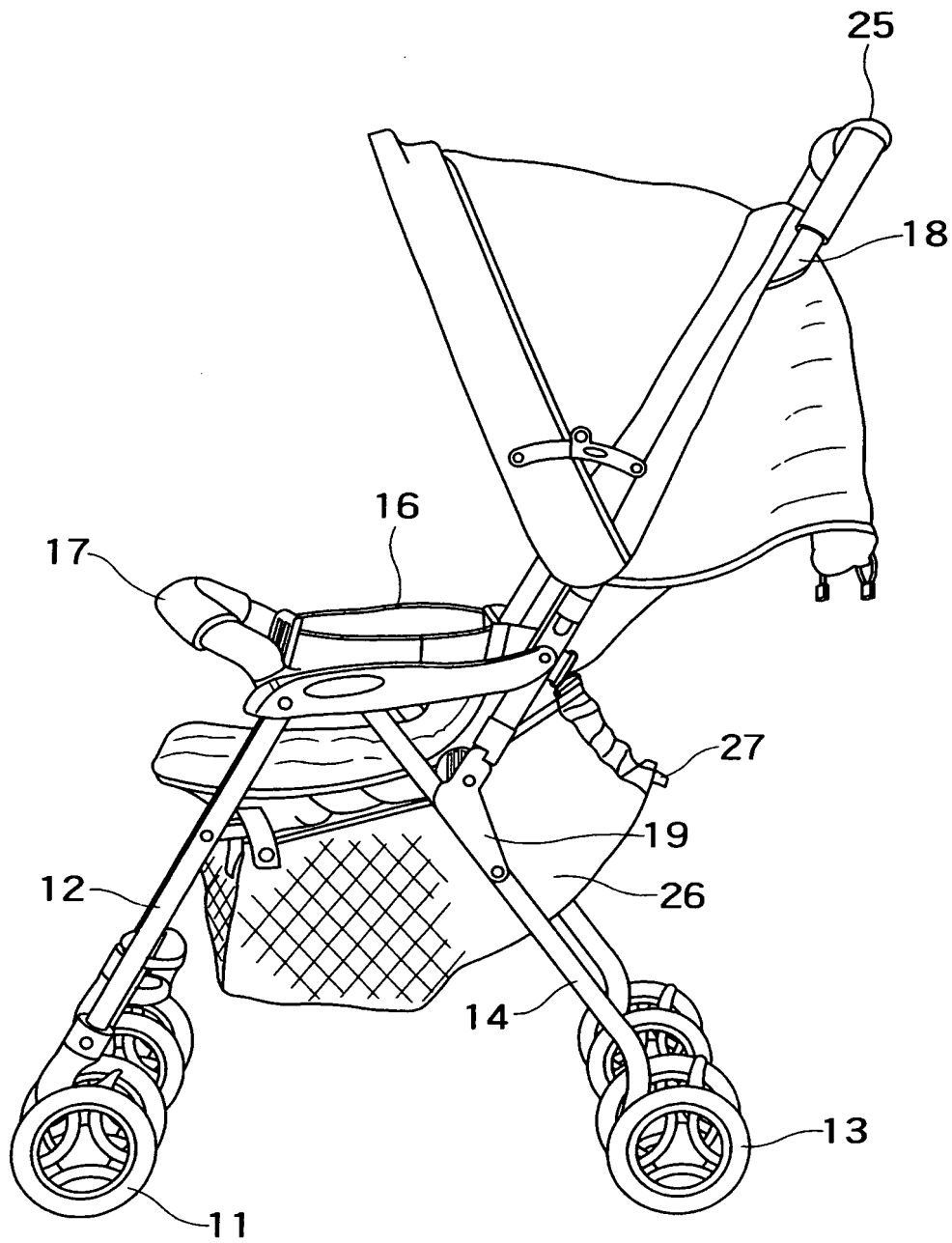
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ベビーカーにおける荷物収納用かごを大型にすることができるとともに、かごへの荷物の出し入れがし易く、しかも、かごがベビーカーの折り畳みにも支障がないようにすること。

【解決手段】 3 折り状態に折り畳み可能な 3 折りタイプのベビーカーに関するものであり、前脚 1 2 と後脚 1 4 とを互いに連結し座面を構成する左右の連結バー 2 3 の後端部に、L 字状のかご保持用パイプ 3 2 を連結する。そして、その左右のかご保持用パイプ 3 2 の先端屈曲部を互いに離間した状態で対向させ、上記かご保持用パイプ 3 2 に荷物収納用のかご 3 1 の後部上縁部を係合装着した。

【選択図】 図 1

特願200,2-277556

出願人履歴情報

識別番号

[391003912]

1. 変更年月日

1990年12月20日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都千代田区内神田3丁目16番9号

氏 名

コンビ株式会社

2. 変更年月日

1996年 8月 7日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都台東区元浅草2丁目6番7号

氏 名

コンビ株式会社